

内丸緑地のヒマラヤスギについて御意見を募集しています！

都市計画課

緑地内に 41 本植栽されているヒマラヤスギは、樹高が 25 メートル以上に達しており、枝の落下があるほか、将来的には倒木等の危険性が生じています。

県では、県民の皆さんに、安心・安全な緑地に親んでもらうため、高木化したヒマラヤスギに対する対応策等について、内丸緑地管理検討委員会を設置して検討しています。

今回県では、ヒマラヤスギ 41 本を全て伐採し、跡地に中低木を植栽するという対応方針案を取りまとめました。この県の対応方針案について、県民の皆さんからの意見を募集するため、5月22日（月）までパブリック・コメントを実施しています。

資料や募集方法など、詳しくは県のホームページ (<http://www.pref.iwate.jp/>) をご覧ください。(トップページ>パブリック・コメント>平成 29 年度>内丸緑地のヒマラヤスギについての意見募集)

皆さんからの御意見をお待ちしています。

<内丸緑地の管理について>

○内丸緑地について

内丸緑地（盛岡市内丸）は県庁、市役所等の官公庁に囲まれた緑地・広場として昭和 52 年に開設しました。

サツキとドウダンツツジの生垣に囲まれ、ヒマラヤスギ、ヤマボウシ、ナナカマド、シラカバ、ユリノキなどが植えられた空間は、官庁街の憩いの場として多くの方に利用されています。



○緑地管理について

内丸緑地は、平成 18 年度から指定管理者制度を導入し、現在は特定非営利活動法人緑の相談室が管理を行っています。

生垣や樹木の管理のほか、花を植えたコンテナガーデンやプランターを設置し、訪れる人の目を楽しませています。また、清掃もほぼ毎日行われており、一年を通してきれいで使いやすい緑地に保っています。

